

空間整備としての ラーニングコモンズ

国立大学図書館協会東京地区協会・関東甲信越地区協会

合同フレッシュパーソンセミナー

2016/09/12

千葉大学附属図書館 池尻亮子

ラーニングコモンズとは？

「学生の学修支援を意図して大学図書館に設けられた場所や施設，具体的には，情報通信環境が整い，自習やグループ学習用の家具や設備が用意され，相談係がいる開放的な学習空間をいう。」

(日本図書館情報学会用語辞典編集委員会. 図書館情報学用語辞典. 第4版, 丸善出版, 2013.)

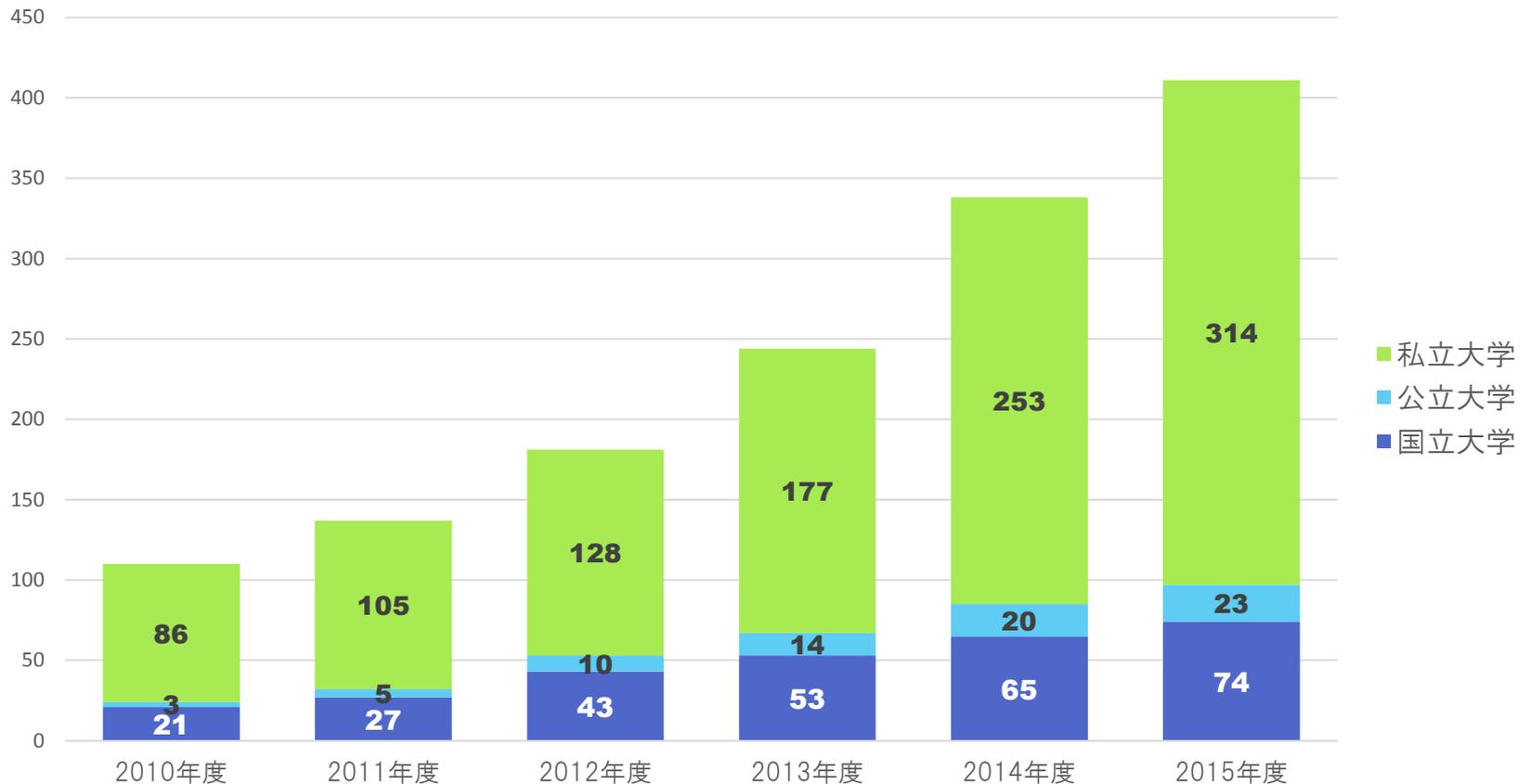
「本調査の対象である『アクティブ・ラーニング・スペース』とは、複数の学生が集まって、電子情報も印刷物も含めた様々な情報資源から得られる情報を用いて議論を進めていく学習スタイルを可能にするために提供されるスペースである。その際、コンピュータ設備や印刷物を提供するだけでなく、それらを使った学生の自学自習を支援する人的サービスも提供する。」

(文部科学省. “学術情報基盤実態調査用語の解説”

http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/jouhoukiban/yougo/1266773.htm.)

アクティブ・ラーニング・スペース の状況

アクティブ・ラーニング・スペースの設置数



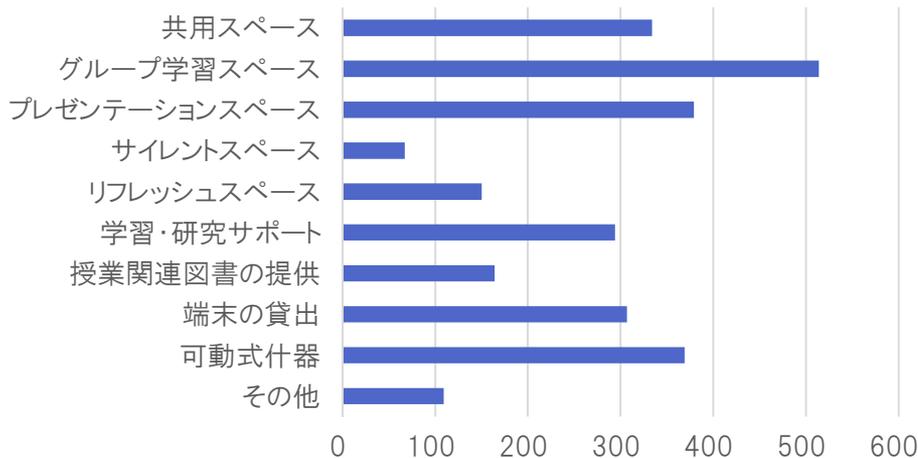
(平成27³年度学術情報基盤実態調査結果報告より)

アクティブ・ラーニング・スペース の状況

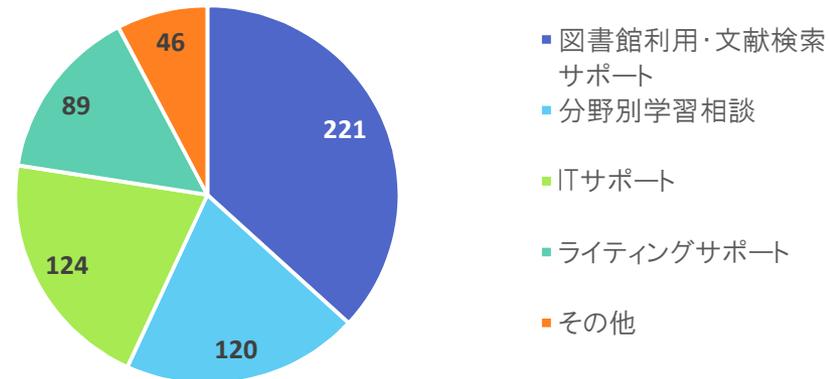
• 平均面積: 570m² (国立大学平均 621m²)

• 提供している施設・サービス

提供している施設・サービス



学習研究・サポート内訳



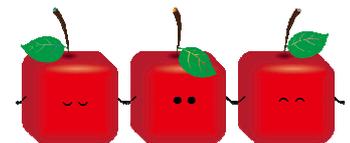
千葉大学附属図書館

- 千葉大学
 - 西千葉、亥鼻、松戸、柏の葉の4キャンパス
 - 10学部、11大学院
 - 学部学生10,756名、大学院学生3,486名、教職員3,349名(病院含む)(2015.5現在)
- 附属図書館
 - 本館(西千葉)、亥鼻分館、松戸分館 3館
 - 図書1,396,423冊, 雑誌24,270タイトル, 電子ジャーナル利用可能数22,480タイトル(2015.3 現在)

#今日は、本館(西千葉)をメインにお話しします。

アカデミック・リンク

- アカデミック・リンクは、千葉大学において「生涯学び続ける基礎的な能力」「知識活用能力」を持つ『考える学生』を育成するために、(中略)教育・学習のための新しいコンセプト
- 「『学習とコンテンツの近接』による能動的学習」
(千葉大学アカデミック・リンク・センター <http://alc.chiba-u.jp/concept.html>)
- コンセプトを実現するための組織
→ アカデミック・リンク・センター (以下、ALC)



建物構成

静寂空間

書庫的空間

研究・開発

L

K

I

N

アクティブ・
ラーニング・スペース

I棟2階 コンテンツ制作室



開設時間中は、技術支援のための
スタッフが常駐

N棟1階の発表できる空間 (プレゼンテーションスペース)



N棟2階の会話可能な場所 (コミュニケーションエリア)



N棟2~4階の個人学習デスク



150 cm

- 1人当たりの幅、150cm
- 電源コンセントあり
- デスクライトで手元が明るい

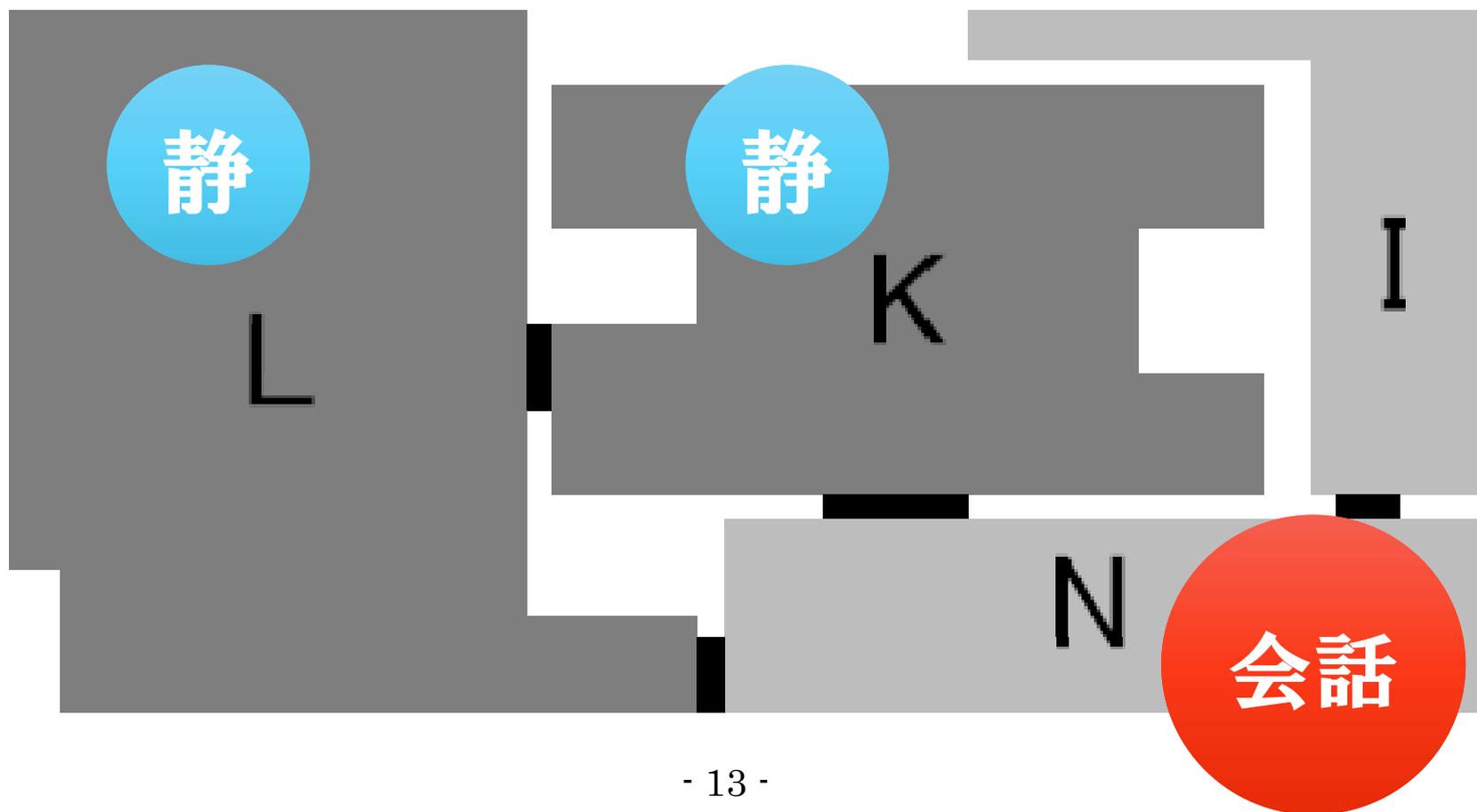
N棟3階のPC 席



大型モニターによるグループ学習の例

**PC 42台 グループで使
える大画面の席あり**

ゾーニング 使い方をきっちり分ける



会話可能な空間

会話



テーブル・イス・ホワイト
ボードを自由に動かせる



一人で黙々と

静



閲覧室

書架の近くに閲覧席あり、ノートPC利用可
L棟2階～4階¹⁵、K棟2階～3階

もっと静かに 一人で黙々と

静



静寂閲覧室 ノートPC利用不可
(タッチパネル式OK)
L棟2階～4階

学生の使い方は？

- ラーニングコモンズを作ったけど、学生はどうやって使っているんだろう？
- ゾーニングして、静かな場所、話せる場所を作ったけど、これでよかったのかな？
- 他にどんな要望があるのかな？

ALCの利用者調査(1)

- 1.千葉大生の学習状況・学習時間・学習環境利用の現状
 - 学生アンケート調査からみた学習状況分析
- 2.新しい学習環境とコンテンツは、どのように行動に結びついたか
 - フォーカス・グループ・インタビュー
- 3.新しい学習空間はどのように利用されているか
 - 定点観測カメラ調査

ALCの利用者調査(2)

- 4.新しい学習空間で資料はどのように利用されているか
 - 館内での資料利用調査（授業資料ナビ、ブックラック調査）
- 5.『学習』を促す「環境」・「コンテンツ」・「サービス」とは？
 - 学生撮影写真とインタビュー（フォトボイスインタビュー）にみる『学習』の広がり

※詳細は『2014年度評価委員会報告書』参照

- http://alc.chiba-u.jp/assessment_committee.html

調査結果紹介(1)

1. 千葉大生の学習状況・学習時間・学習環境利用の状況

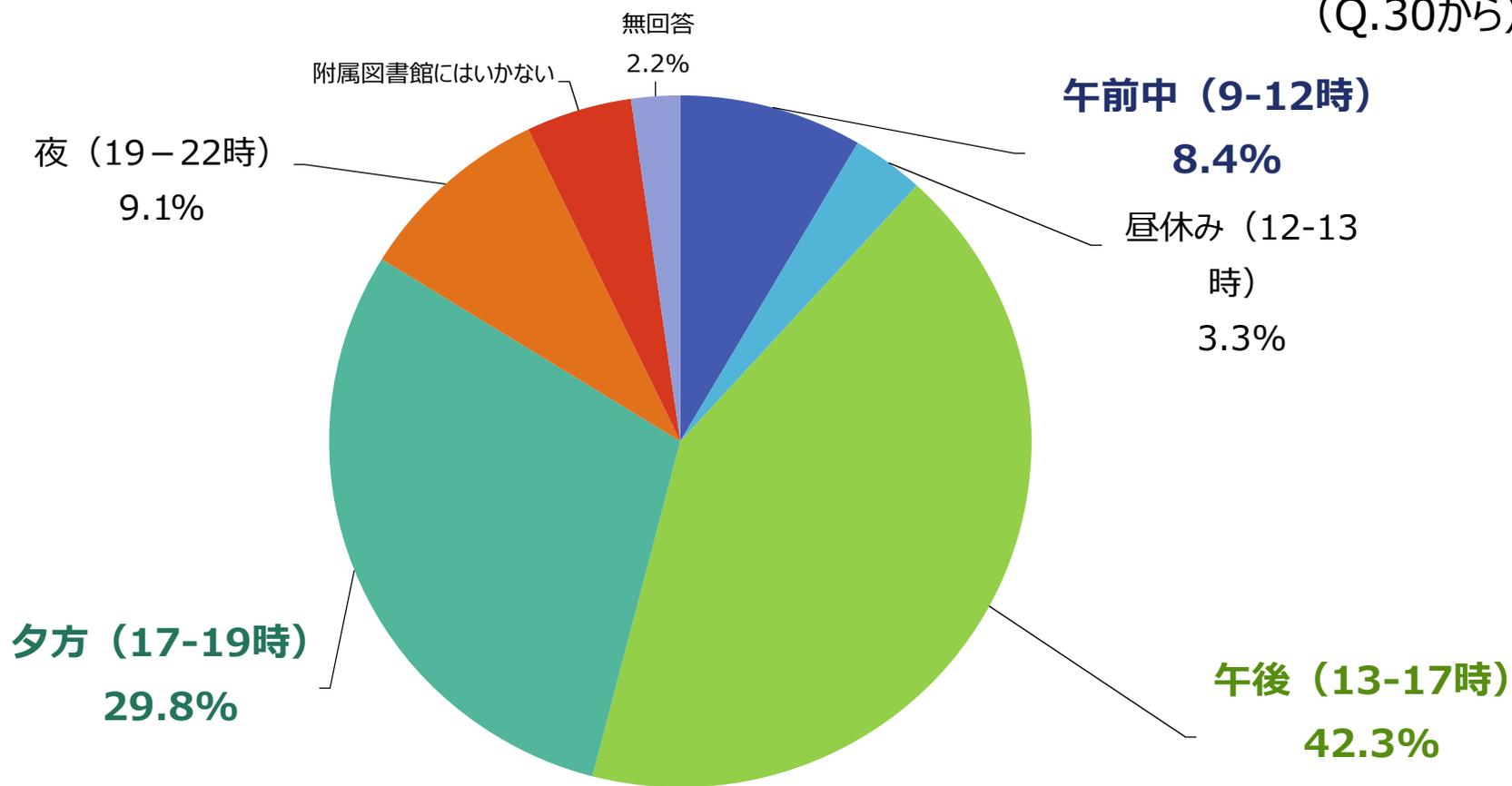
『千葉大学学習状況・情報利用環境調査2014集計報告書』より

- 実施期間: 2014年12月10日～2015年2月15日
- 対象: 千葉大学に在学する学部生
- 有効回答数: 1292
- 調査結果

<http://alc.chiba-u.jp/research.html>

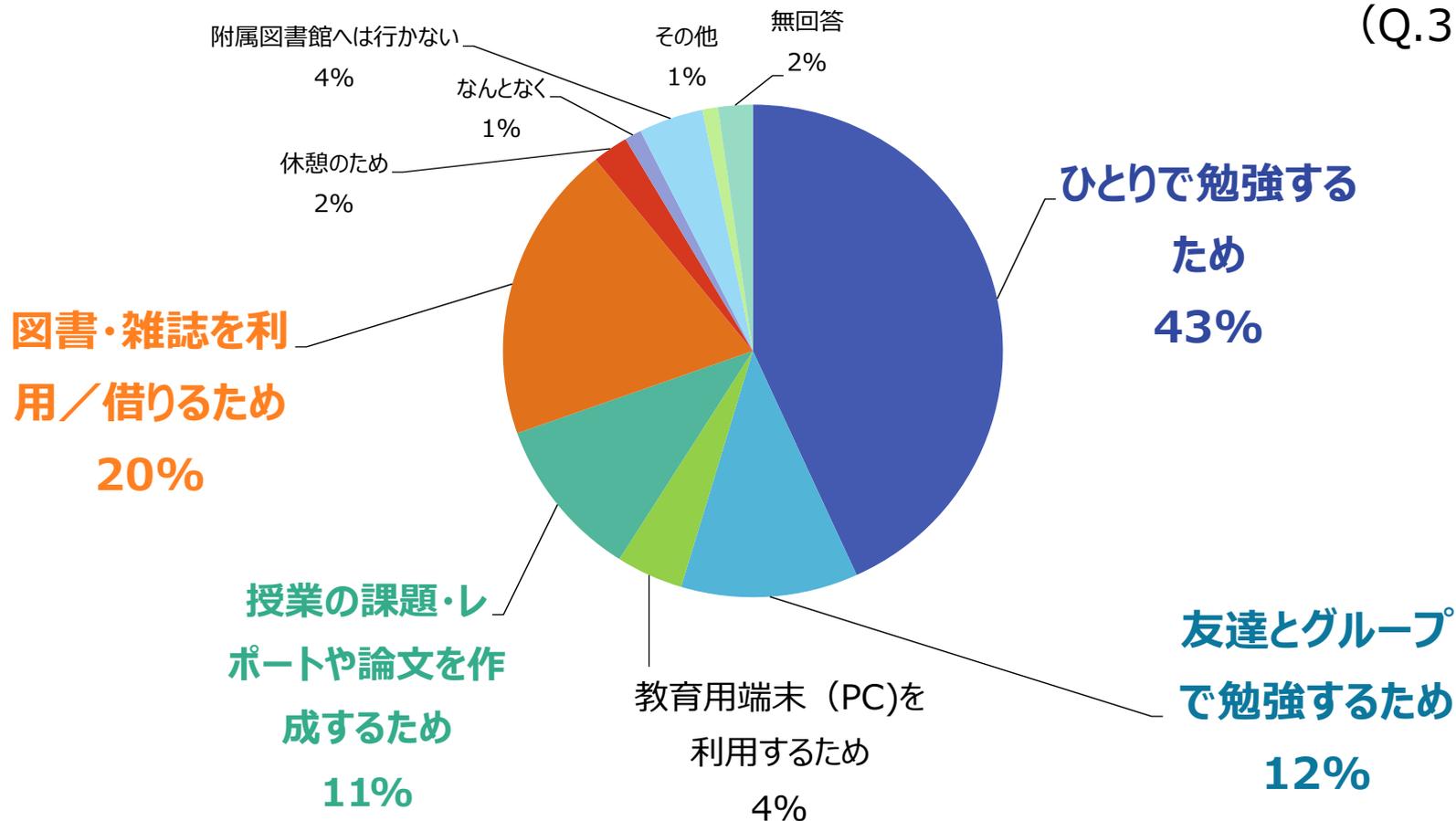
図書館の滞在時間帯

(Q.30から)



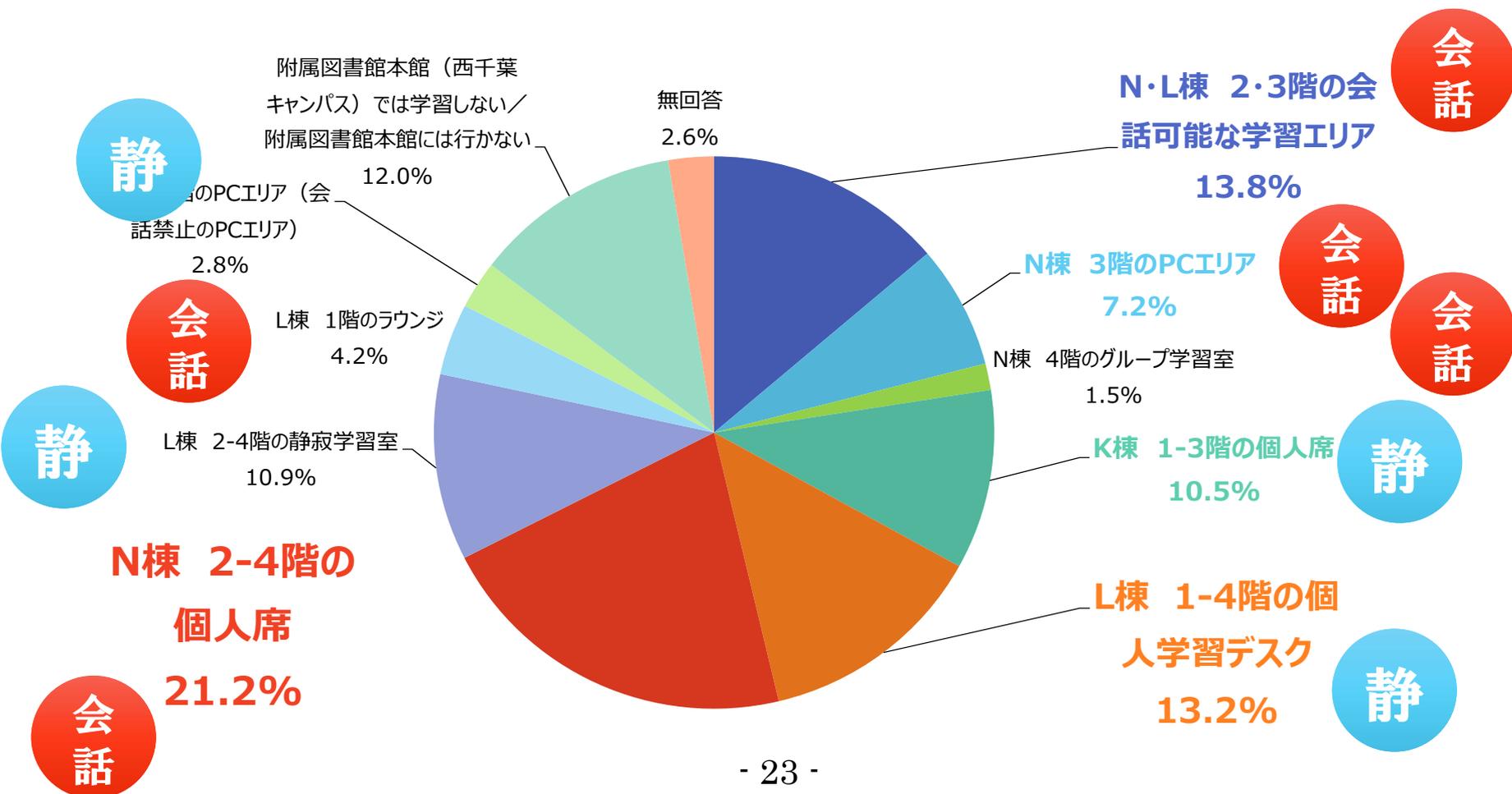
図書館を利用する目的は？

(Q.32から)



西千葉の図書館で好きな場所

(Q.33から)



調査結果紹介(2)

- 2.新しい学習環境とコンテンツは、どのように行動に結びついたか
 - フォーカス・グループ・インタビュー (FGI)

※詳細は下記論文参照

谷奈穂, 竹内茉莉子, 池尻亮子, 丸茂里江, 庄司三千子, 國本千裕ほか. 図書館における学生の行動とその行動に関係する環境の要素:フォーカス・グループ・インタビューによる探索的調査. 大学図書館研究. 2016;104. 【掲載予定】

フォーカス・グループ・インタビュー ①

- 時期：2013年2月
- 対象：本館の利用者（計22名）
 - 学部2年生以上＋院生（＝改修前を知っている人）
- 方法：フォーカス・グループ・インタビュー
 - テーマを決めて、学生に自由に話してもらう
 - 5グループ×2時間
- テーマ：改築後に、図書館の使い方や勉強の仕方はどう変わったか？それはなぜ？

フォーカス・グループ・インタビュー ②

- インタビュー結果の分析
 - 発言を整理してカテゴリに分ける
 - のべ707あった総発言を「レポート・課題」「グループ学習室」「持ち込みパソコン」などの見出しをつけ、95のカテゴリに分類
 - 95のカテゴリに含まれる発言を、共通する行動パターンで分類し、最終的に12のカテゴリに分類

| No | カテゴリ | 例 | 発言数 |
|----|------------|---|-----|
| 1 | 対話する | 友人・知人と話す場所として図書館を使う | 73 |
| 2 | 本を借りる・読む | 授業の参考図書を借りる, 興味のある本を読む | 69 |
| 3 | 勉強する | 勉強場所として図書館を使う | 61 |
| 4 | 議論する | 委員会活動の会議, コンペに向けた会議, 読書会 | 55 |
| 5 | 執筆する | 授業のレポート執筆, 卒業論文の執筆 | 31 |
| 6 | 問題を解く | テスト勉強, 国家試験や公務員試験の勉強 | 29 |
| 7 | 調べる | 文献の参照, インターネットでの検索 | 15 |
| 8 | パソコンを使う作業 | 自分のパソコンや, 館内の端末を使った作業 | 13 |
| 9 | インタビューする | 卒業論文作成の一環 | 13 |
| 10 | 時間つぶし・気分転換 | 空きコマの時間つぶし, 図書館での息抜き | 12 |
| 11 | 成果発表する | グループ発表の練習, 講評会の実施 | 5 |
| 12 | その他 | イベント(1210あかりんアワー)に参加する しおりづくり(サークル活動)をする ボールペン字の練習をする | 14 |

フォーカス・グループ・インタビュー ③

行動についての発言例：

1. 対話する

“学科のその養護教諭の子たちと集まって話をしたりってことはたまにするんですけど。将来のこと話したりとか。”

“(図書館では)勉強で話す人も周りに多いじゃないですか。で、ライフセンター(食堂)は、どっちかというと、何か勉強ではなくてサークルの友達とがやがや騒ぐ。...中略...(図書館には)それとはちょっと違う雰囲気がありますよね。”

→図書館は、基本的には勉強の場であり、そこで交わされる会話は単なる雑談ではなく、学習や学生生活に関わる内容であることが多いため、食堂等とは「ちょっと違う雰囲気」を持つ対話の場所として認識されていることが分かる。

フォーカス・グループ・インタビュー ④

行動についての発言例：

6. 問題を解く

“友達と3人で(国家試験の問題集を)やってたんですけど。で、(基本は個人で取り組んでいるけれど)わからない(から質問する)ってなったら、手を挙げて(合図します)。みんなイヤホンつけてる(ので。合図に気付くと)、何？何？って(反応してくれるので、相談します)。”

→学生が授業の課題や国家試験に向けて問題を解くとき、仮に複数人で一つの机に集まっても、基本は個人で問題に取り組み、質問があるときだけ声をかけることが説明されている。つまり、グループでの学習でも、話し合いが主でない場合がある、ということが分かる。

フォーカス・グループ・インタビュー ⑤

空間についての発言例：

- 会話が可能な空間と静かに利用する空間の並存

“集中してやりたいときは、私はあの古いほう(L棟)に行って...中略...
しゃべりたいときはこっち(N棟)に来て。あとパソコン使いたいときもこっ
ち(N棟)に来てというふうに”

→会話が可能な空間を設けた一方で、L棟、K棟は増改築前と同様、
静寂に利用するための空間とした。これにより、学生が利用目的にあわ
せて空間を選択できるようになった。一人で集中して勉強するときには
L棟、対話する際やパソコンを使う作業の場合はN棟、というように、行
動によって場所を使い分けていることが分かる。

フォーカス・グループ・インタビュー ⑥

空間についての発言例：

- 電源の確保

“N(棟)は特に、全部(の個人学習席に電源が)ついてるじゃないですか。だからパソコンを使いながら長時間いれるようになりました。前は、どちらかという本を借りて家で作業する感じだったんですけど、電源ができたので(そういったことがまとめて)全部図書館でできるようになって、かなり楽になった。”

→増改築前には電源は無く、またデスクトップの端末しか備えていなかったため、パソコンを利用しながらの長時間滞在や、好みの場所でパソコンを利用することは難しかった。電源が利用可能になったことで、図書館での活動の制限が緩和され、できることの幅が広がったことが述べられている。

調査結果紹介(3)

- 4.新しい学習空間で資料はどのように利用されているか
 - 館内での図書利用状況調査



図書利用状況調査

- 目的
 - グループでの学習やパソコン等を活用した学習ができる空間(N棟2階、3階)で館内資料(図書や雑誌)がどのように利用されたか
- 方法
 - 2回実施(2012年度後期、2013年度前期)
 - (1) 使い終わった図書をN棟2階、3階に置いたブックラック(=返本台)に置いてもらう
 - (2) 返却された図書のバーコード(資料ID)を読み取り、データを収集
 - (3) 資料IDから図書の書誌データ、所蔵データを取得して分析

図書利用状況調査

- 結果

- 返却された資料

- 2012 年度後期分 1,155 点、2013 年度前期分で 1,621 点
 - K棟、L棟、N棟と様々な配架場所の資料がN棟で使われている。雑誌も含まれている。

- 使われていた場所

- N棟2階よりもN棟3階に資料が集まっている。
→N棟3階には、学生用PCがある。パソコンと館内資料を併用した形式での学習が行われているのではないか？

(“アカデミック・リンク・セミナー 2013年度 No.5 学生たちは新しい学習環境をどのように使い、どのように学んでいるのか”. http://alc.chiba-u.jp/seminar/report2013_05.html)³³ -

学生の利用方法は学生に聞こう

調査を始めるのはなかなか大変であれば...

まず、邪魔にならない程度に学生に話しかけてみよう

- 例)カウンターでグループ学習室を借りに来たとき手続きをしながら

図:グループ学習室よく使うんですか？

学:試験期とか席ないときは使いますね。みんななんで知らないんだろう。超いいのに。

図:普段はどこつかうの？

学:2階(※会話可能な場所)ですね。

(ここで手続き終了)

学生の利用方法は学生に聞こう

調査を始めるのはなかなか大変であれば...

まず、邪魔にならない程度に学生に話しかけてみよう

学生がどうやって使っているかな？という疑問には、データも、アンケートも有用ですが、まずは学生を知ろうとする姿勢が大事。

参考文献

- 加藤信哉, 小山憲司編訳. ラーニング・コモンズ : 大学図書館の新しいかたち. 勁草書房, 2012.
- 溝上智恵子ほか. 世界のラーニング・コモンズ : 大学教育と「学び」の空間モデル. 樹村房, 2015.

他、引用は各スライド内に記載

※公開時追加（講義の最後に口頭で紹介した論文です）

- 庄司三千子, 伊勢幸恵, 池尻亮子, 丸茂里江. 千葉大学附属図書館 / アカデミック・リンク・センターにおける学習空間のゾーニング. 医学図書館. 2016;63(3).

ご清聴ありがとうございました。

